

# 1,382,000人(3.3%減) 62年の入洛修学旅行生 京都市観光調査年報発表

第1表 修学旅行客数 上段61年、下段62年(単位:校,千人)

| 区分  | 総数    |       | 小学校   |      | 中学校   |      | 高等学校  |      |
|-----|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|------|
|     | 校数    | 人数    | 校数    | 人数   | 校数    | 人数   | 校数    | 人数   |
| 報告分 | 5,684 | 1,314 | 1,364 | 159  | 2,481 | 644  | 1,839 | 511  |
| 推計分 | —     | —     | —     | —    | —     | —    | —     | —    |
| 推計分 | —     | 115   | —     | 15   | —     | 52   | —     | 48   |
| 推計分 | —     | 137   | —     | 17   | —     | 68   | —     | 52   |
| 総人数 | —     | 1,429 | —     | 174  | —     | 696  | —     | 559  |
| 割合% | 100.0 | 100.0 | 12.2  | 12.2 | 48.7  | 49.9 | 39.1  | 37.9 |

(説明) 報告分とは宿泊施設からの報告分を集計したものであり、推計分とはそれ以外の宿泊施設について類似規模の施設を参考に推計したものである。

第2表 月別修学旅行客数 (単位:校,千人)

| 区分  | 総数    |       | 小学校   |     | 中学校   |     | 高等学校  |     |
|-----|-------|-------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|
|     | 校数    | 人数    | 校数    | 人数  | 校数    | 人数  | 校数    | 人数  |
| 1月  | 12    | 3     | —     | —   | —     | —   | 12    | 3   |
| 2月  | 32    | 8     | 2     | —   | 17    | 5   | 13    | 3   |
| 3月  | 190   | 41    | 4     | —   | 49    | 9   | 137   | 32  |
| 4月  | 924   | 174   | 293   | 33  | 611   | 137 | 20    | 4   |
| 5月  | 1,341 | 270   | 512   | 54  | 782   | 206 | 47    | 10  |
| 6月  | 688   | 171   | 128   | 13  | 523   | 151 | 37    | 7   |
| 7月  | 206   | 58    | 1     | —   | 148   | 45  | 57    | 13  |
| 8月  | 53    | 14    | —     | —   | 2     | —   | 51    | 14  |
| 9月  | 439   | 88    | 83    | 9   | 156   | 27  | 200   | 52  |
| 10月 | 935   | 215   | 213   | 25  | 134   | 29  | 588   | 161 |
| 11月 | 651   | 168   | 90    | 17  | 57    | 9   | 504   | 142 |
| 12月 | 140   | 35    | 10    | 1   | 12    | 4   | 118   | 30  |
| 計   | 5,611 | 1,245 | 1,336 | 152 | 2,491 | 622 | 1,784 | 471 |

(説明) この表は、昭和62年の報告による修学旅行客について月別にあらわしたものである。

第3表 出発地別修学旅行客数 (単位:校,千人)

| 区分    | 総数    |       | 小学校   |     | 中学校   |     | 高等学校  |     |
|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|
|       | 校数    | 人数    | 校数    | 人数  | 校数    | 人数  | 校数    | 人数  |
| 北海道   | 301   | 61    | —     | —   | —     | —   | 301   | 61  |
| 東北    | 459   | 116   | 1     | —   | 4     | —   | 454   | 116 |
| 関東    | 1,968 | 592   | 14    | 2   | 1,446 | 416 | 508   | 174 |
| 東海    | 588   | 167   | 9     | 1   | 462   | 128 | 117   | 38  |
| 近畿    | 376   | 127   | 1     | —   | 280   | 87  | 95    | 40  |
| 四国    | 319   | 107   | 3     | —   | 276   | 94  | 40    | 13  |
| 九州    | 1,349 | 253   | 465   | 62  | 636   | 135 | 248   | 56  |
| 中部    | 267   | 61    | 2     | —   | 204   | 49  | 61    | 12  |
| 北陸    | 366   | 54    | 343   | 50  | 11    | 1   | 12    | 3   |
| 近畿    | 467   | 46    | 459   | 45  | 2     | —   | 6     | 1   |
| 中国    | 338   | 47    | 199   | 23  | 130   | 22  | 9     | 2   |
| 四国    | 279   | 34    | 196   | 20  | 60    | 11  | 23    | 3   |
| 九州・沖縄 | 450   | 96    | 2     | —   | 213   | 38  | 235   | 58  |
| 計     | 5,611 | 1,245 | 1,336 | 152 | 2,491 | 622 | 1,784 | 471 |

(説明) この表は、昭和62年の報告による修学旅行客について出発地別にあらわしたものである。

京都市文化観光局は、六月二十一日に「京都市観光調査年報(昭和六十一年)をまとめ、入洛観光客は三年ぶりに増加したが、修学旅行生については、3.3%減少したと発表した。

これによると、一般観光客は三千七百九十九万六千人で、九十八万五千人(2.7%)増となり、古都税紛争の解決と金閣寺の修復がその大きな理由だと、市の担当者も語っている。

修学旅行生については、五千六百一十一校、百三十八万二千八百七十三名(四万七千人)の減少。修学旅行は少なくなると、二年前から先行を決めて計画する。申込時は古

都税問題が解決せず、有名寺院が開閉してなかったためではないかと、市の担当者も語っている。

学校種別に見ると、別表のとおり六十九万人と、約半数(49.9%)が中学生で、小学校12.2%、高等学校37.9%と、その割合はあまり変わっていない。

出発地別では、関東が48%と多く、特に中学校では67%と圧倒的な数字を示している。次に訪問地調査をみると、小・中・高に当たる年齢層別(十九歳まで)では、清水、嵐山、平安神宮、二条城、銀閣寺がベスト。金閣寺は修

復後の十一月からの数字でも十三位に入っているのは、根強い人気を物語っているよう

また、月別では五月(22%)が最も多く、以下、十月(17%)、四月(13%)と、ほぼ春秋の好季節に集中していること

がわかる。八月でも一万四千人、二月でも八千人の修学旅行客があるという事は、古都税問題があつたとはいえ、文化財を多く持つ京都の強さである。

しかし、市では生徒数漸減等の今後の状況に鑑み、修学旅行誘致キャンペーンもするようになった。本年度は八月末に仙台や福島で、京都観光の現状と今後の取り組み、修学旅行のための体験学習の紹介などを行っている。

## 「古都—その点・線・面」(1)

### シリーズ開始にあたって

京都には例年百万四方の修学旅行生が訪れる。国際文化観光都市といわれ、世界文化自由都市宣言を行った京都は、世界に大きく窓を開くが、それは千二百年の古都として、文化と伝統がその風土に根づいているからである。

京都に来る観光客に限らず、修学旅行生も訪問地は主として古都の文化財であり、その伝統である。それは以前も現在も大差はないが、ここ数年、徐々に様変わりが起きつつあることも事実である。

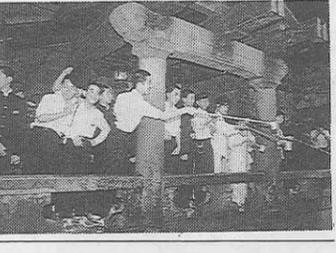
その第一は、一列になつて学年全体が見学する場面が減り、数人のグループの活動が

目立つようになってきたこと。

第二には、金閣寺—二条城—平安神宮—清水寺—……という京都の全地域的視野からの「点と線」を結んだコースもさることながら、洛北・洛東・洛中……というように、「点と線」から「面」へと、見学箇所に変化が見られることである。

そして、第三には体験学習が強調されて、法話を聞いたり、清水焼の絵付け、能狂言の鑑賞などがプログラムに組み入れられるところがあること。

第四には東映太秦映画村などに生徒の人数が増えること



## 韓国で日本からの修学修行誘致に安全対策を推進

公立高等学校の海外修学旅行自由化の進行に伴い、韓国では交通部が中心となり、日本修学旅行団誘致のため、関係部署と安全対策を協議中である。

旅行社、バス会社、鉄道庁などは無理な連行を慎むとともに、新型バスの配車、列車の特別点検と運行統制徹底などを行政指導する。また、保健衛生部、ソウル市をはじめとする各機関からは、食中毒予防対策を徹底推進し、大型

ANA、JASも七月からソウルへ

ソウルオリンピック開催を前に、七月一日から全日本空輸(ANA)および日本エアシステム(JAS・旧東亜国内航空)の二社も東京成田—ソウル間に定期便の運航を開始した。JASは国際線初進出である。

両社ともそれぞれ毎週月・水・金・土・日の週五往復で、この路線は日本航空と併せ、わが国の三大航空会社が揃って就航することとなった。

ソウルオリンピックは、九月十七日から十月二日まで開催される。

昭和61年オープン  
ほくれい  
新館増築「北嶺」  
(130名収容)

座禅体験で  
「心、リフレッシュ!!」

|    |     |      |      |
|----|-----|------|------|
| 本館 | 17室 | 194帖 | 120人 |
| 比叡 | 28室 | 260帖 | 200人 |
| 北嶺 | 15室 | 160帖 | 130人 |
| 計  | 60室 | 614帖 | 450人 |

〈国際観光旅館〉  
比叡山 延暦寺会館

TEL 0775-78-0047・0554  
TELEX 5464-917  
FAX 0775-79-5053

首都東京を見て、何かを!

学校単位の貸切りで  
ご利用下さい

30年の経験を生かす 50旅館 8000名収容

## 本郷の旅館へ

本郷旅館協同組合

〒113 東京都文京区本郷4-36-3 TEL 03-813-9381

育てる心はみんな同じ。

●営業受付時間  
9:00-17:00 (3月16日~11月15日)  
9:30-16:00 (11月16日~3月15日)

●修学旅行料金 高校生 1,000円  
中学生 700円、小学生 600円  
ガイドラジオ  
バス1台につき 1,000円

別府あじむ草原  
アフリカンサファリ

〒872-07 大分県宇佐郡安心院町大字南畑  
☎(09784) 8-2 3 3 1(代)

東京コマ旅行会館は  
第8回優秀防火建築表彰で  
建設大臣賞を受賞いたしました。

東京でのお泊りは  
安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近に望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様により有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉  
東京都港区六本木1丁目7番地  
TEL (03)585-1046(代表)

東京 コマ旅行会館

楽しい修学旅行を、  
より安心  
出来るものに

「国内旅行傷害保険」  
修学旅行用をおすすめします。

東京海上火災保険株式会社  
本店 東京都千代田区丸の内1-2-1 ☎03-212-6211(代表)

### 北へ南へ国土学習の旅

#### 海外へも視点を向けて

#### 夏の教職員研修旅行始まる

夏の全国教職員研修旅行「登山」「立山黒部アルペンル」(教育研修企画主催)は、全修協協賛の「瀬戸大橋と四国」「山陽・延べ四十九コース」に二千五百名が参加し、七月二十五日から実施に入る。

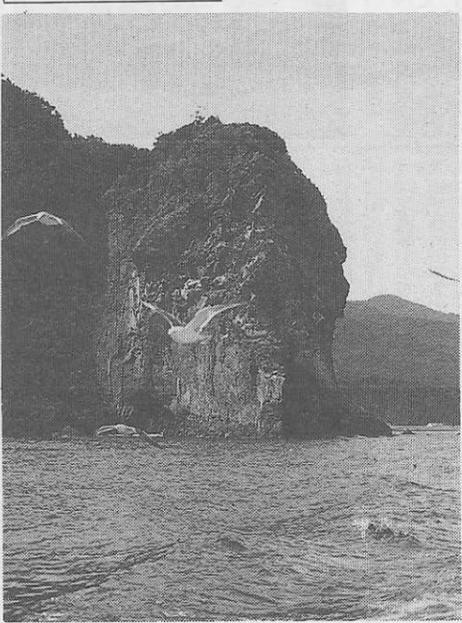
北海道方面各コースの人気は根強く、「利尻・礼文と宗谷岬」「北海道一周と知床はいち早く満員となって増団した。北海道の大地、離島に残る自然への憧れの反映が、本年度最大のイベントとして注目されている。「なら・シルクロード博」を組み入れて、「高野山」「飛鳥」を訪ねるコースも好評で、高野山の神秘性、飛鳥の古代ロマンなどに興味をそそられるのであろう。

その他、山岳コースとしての「尾瀬ヶ原と尾瀬沼」「富士

### 研修旅行の「作品」募集 力作、傑作を

全修協では、夏季研修旅行にご参加の皆様の写真・紀行文・詩歌などの作品を募集しています。形式は自由ですが、①氏名②住所③勤務校④参加コース名⑤作品名と簡単な説明をつけてお送り下さい。締切は九月十日、選考は写真部、作文部に分け、優秀な作品は修学旅行新聞に掲載させていただきます。賞品の贈呈をいたします。なお、応募作品は返却いたしませんのであらかじめご了承下さい。(送り先)〒100 東京都千代田区西神田二一八七番七ビル内 全修協研修旅行研究協会・研修旅行係にて

### 62年度 北海道知事賞 「秘境に舞う鷗たち」



犬飼 静磨 (名 古市 区)

### 今年の北海道 知事賞は誰に

とくに、北海道の写真については、今年も「北海道知事賞」「北海道観光連盟賞」が用意されており、日頃の腕前を大いに発揮されるよう期待しています。

### 新A滑走路が完成 7月2日から使用

東京・羽田の東京国際空港に増設の新A滑走路が完工、七月二日から使用開始した。長さ三千七百六十メートル、現在のC滑走路の海側にほぼ平行し、北西から南東に延びており、原則として着陸用として使用する。また、七月二十三日から、日本航空の松山便開設をはじめ、国内線の増設、増便が予定されている。



山手線がオール新車に 7月6日ダイヤ改正

東京のシンボルの存在、JR東日本の山手線から緑の電車「103系」が姿を消した。昭和三十八年以来四半世紀にわたり、環状線をめぐって来たが、新しいステンレス製の省エネ電車「205系」にすべて入れかわられ、冷房率も100%となった。

また、七月六日にはダイヤ改正が実施され、間隔と所要時間をわずかながら短縮、日中は一周六十分の夢が実現することになって、東京―上野間の乗り継ぎや都民の足は便利さを増した。

なお、緑色の電車は、埼京線と横浜線で活躍している。

### 山手線がオール新車に 7月6日ダイヤ改正

東京のシンボルの存在、JR東日本の山手線から緑の電車「103系」が姿を消した。昭和三十八年以来四半世紀にわたり、環状線をめぐって来たが、新しいステンレス製の省エネ電車「205系」にすべて入れかわられ、冷房率も100%となった。

また、七月六日にはダイヤ改正が実施され、間隔と所要時間をわずかながら短縮、日中は一周六十分の夢が実現することになって、東京―上野間の乗り継ぎや都民の足は便利さを増した。

なお、緑色の電車は、埼京線と横浜線で活躍している。

### 新A滑走路が完成 7月2日から使用

東京・羽田の東京国際空港に増設の新A滑走路が完工、七月二日から使用開始した。長さ三千七百六十メートル、現在のC滑走路の海側にほぼ平行し、北西から南東に延びており、原則として着陸用として使用する。また、七月二十三日から、日本航空の松山便開設をはじめ、国内線の増設、増便が予定されている。

### 山手線がオール新車に 7月6日ダイヤ改正

東京のシンボルの存在、JR東日本の山手線から緑の電車「103系」が姿を消した。昭和三十八年以来四半世紀にわたり、環状線をめぐって来たが、新しいステンレス製の省エネ電車「205系」にすべて入れかわられ、冷房率も100%となった。

また、七月六日にはダイヤ改正が実施され、間隔と所要時間をわずかながら短縮、日中は一周六十分の夢が実現することになって、東京―上野間の乗り継ぎや都民の足は便利さを増した。

なお、緑色の電車は、埼京線と横浜線で活躍している。

### 山手線がオール新車に 7月6日ダイヤ改正

東京のシンボルの存在、JR東日本の山手線から緑の電車「103系」が姿を消した。昭和三十八年以来四半世紀にわたり、環状線をめぐって来たが、新しいステンレス製の省エネ電車「205系」にすべて入れかわられ、冷房率も100%となった。

また、七月六日にはダイヤ改正が実施され、間隔と所要時間をわずかながら短縮、日中は一周六十分の夢が実現することになって、東京―上野間の乗り継ぎや都民の足は便利さを増した。

なお、緑色の電車は、埼京線と横浜線で活躍している。

—修学旅行の楽しいお食事—

## 箱根彫刻の森美術館内 レストラン コンポート

◇500名様迄、ご利用いただけます。  
◇当レストランは、彫刻の森美術館内の施設ですので、入館を必要とします。

〒250-04 神奈川県足柄下郡箱根町二の平1121  
☎0460(2)1141(代表)

## 美しくに 伊勢志摩 伊勢内宮前 岩戸屋

内宮前でのお食事は階上・階下共1,500名様までお楽にお食事が出来ます。お食事ご休憩にご利用下さい。

おみやげコーナーは伊勢参拝記念の土産を豊富に販売致しております。

伊勢市内宮前  
**岩戸屋**  
伊勢内宮前 (〒516)  
TEL <0596> 23-3188(代)  
テレックス 4969-503 イセイトヤ

### 旅のガイドブック

## ●ハンディタイプ「トラベルメイト」の旅ガイド

|  |   |  |  |
|--|---|--|--|
| 1 北海道<br>札幌とその周辺<br>2 道東(阿寒・知床)<br>3 道南(十勝・釧路)<br>4 道北<br>5 青森・秋田・八幡平<br>6 岩手・仙台・松島・蔵王<br>7 鶴岡・会津・福島<br>8 日光・那須<br>9 新潟・佐渡 | 11 東京<br>12 秩父・多摩・埼玉<br>13 横浜・三浦半島<br>14 鎌倉・湘南<br>15 箱根<br>16 伊豆<br>17 伊豆七島<br>18 千葉・房総<br>19 軽井沢・伊香保<br>20 戸隠・志賀高原 | 21 松本・上高地・乗鞍<br>22 蓼科・清里・八ヶ岳<br>23 富士五湖・甲府<br>24 中部・高山<br>25 名古屋・東海<br>26 北陸<br>27 近江・若狭<br>28 京都<br>29 奈良<br>30 大阪・神戸 | 31 伊勢・志摩<br>32 南紀<br>33 山陰<br>34 山陽<br>35 四国<br>36 九州<br>37 北九州(福岡・大分)<br>38 西九州(長崎・熊本)<br>39 南九州(宮崎・鹿児島)<br>40 沖縄 |
|--|---|--|--|

★お求めは全国の有名書店でどうぞ。発行 近畿日本ツーリスト出版事業部

〒101 東京都千代田区神田松永町19-2 ☎03(257)0779/直通 FAX.03(258)3216

### 62年度 修学旅行の実態

#### 小・中・高の総合調査

#### 三重県修学旅行研究会

三重県修学旅行研究会は、昭和六十二年度の小、中、高校の修学旅行の実態を総合的にまとめた結果を発表した。

この調査は毎年行われ、前年度と比較もでき、好参考資料であるが、実践事例も加えられ一層現場の各学校の指導上役立つよう配慮されている。

**小学校(公立)の修学旅行の実態調査**

1、回収率 98.4%  
調査対象校 四四三校  
回答校 四三六校  
うち不参加校 一〇校  
参加児童 二六二七九人  
3、引率教員 二二〇三人

(1)全行程バス利用で交通渋滞にたい見学時間のゆとりがな

4、引率者一人宛二・五人  
5、実施時期  
四月一三三校、五月二二九校、六月一三三校、九月一四校、十月一五四校、十一月九校

6、宿泊数  
一泊二日が三二〇校(75.8%)、二泊三日が一〇二校(24.2%)

7、児童一人当たり経費  
一泊二日では、平均一五八三円で前年より七三七円増、二泊三日では、二九四〇三円と一三八〇円の増である。

反省・意見について  
1、交通関係  
(1)全行程バス利用で交通渋滞にたい見学時間のゆとりがな

2、実施時期  
(1)六月に実施したが時期的に空いていて見学にゆとりが持たなかった。  
(2)実施時期が四月中旬であり、準備学習不十分であった。  
(3)十月実施、ゆとりをもつて諸準備ができた。

3、宿泊について  
(1)旅館は親切だが、部屋が迷路の感じ、万一の場合不安。  
(2)直前の部屋変更は困る。  
(3)旅館が新しく安全面の配慮よし、夜間巡回もしてくれ安心だった。  
(4)非常階段の設備が悪く不安、集合場所(ロビー)が狭く困った。  
(5)大阪での宿は大方不評(部屋、風呂、トイレ等)。  
(6)京都の宿の間取りが複雑、緊急事態の場合安全確保不安。  
(7)計画について  
(1)ゆとりをもつた日程の見直しが必要(見学地も含めて)。  
(2)奈良でのグループ行動が自主的に行われなかった。  
(3)工場見学の見学所はないか。  
(4)新京都の見学を夕食前にすませたが混雑が少なかった。  
(5)大阪空港で時間空費、明日香村のサイクリング事前調査の要。

6、経費負担について  
教員の経費負担は一市を除き市町村から出費されている。一市は県費支出。PTAその他からも少数補助を受けている学校もある。児童については市町村から補助の出ている所が13%、PTAから一部補助4%、全額父母負担が84%と例年とあまり変わらない。今後県費の一般旅費に引き上げないよう特別な旅費増を当局に願いたい。

### 志岐への修学旅行が急増中

〔九州支局〕長崎県志岐を訪れる修学旅行団が急増している。

郷ノ浦町と石田町に宿泊する修学旅行団は、昭和五十四年、大阪の高校が最初のこと、以後ははたは低学年が続いてきたが、PRが功を奏して昭和六十二年は九校、四千名が来島、本年は十四校、五千五百名が予定されている。

地曳き網、たこ作り、サイクリング、無人島探検など、都会の高校生には自然がいっぱいで貴重な体験ができるが、交通機関等の制約があるため、ピークの十月以外に来島を望んでいる。

### 交通博物館で特別展

東京・神田の交通博物館では、夏休み特別展「帰ってきたおもちゃ」を開催する。

明治・大正・昭和と各時代の陸・海・空ののりものおもちゃを中心に、おもちゃで見る車両変遷史、レトロ鉄道模型やおまけの自動車などを展示する。

会期七月二十六日～九月四日、八月は月曜日も開館し無休。入館九時三十分、十六時三十分。入館料大人、四割、四歳以下中学生以下、半割、二割。